木曽川沿川（木曽川・笹川）洪水ハザードマップ

木祖村

わが家の防災メモ

▶わが家の避難場所	①			
	②			
	③			
▶離ればなれになった時の集合場所	名称		☎	
▶緊急時の連絡先	名称		☎	

家族の名前	携帯電話番号	会社・学校の連絡先

災害時の連絡方法

●安否の確認や　家族間・知人間の連絡に活用できます。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

録音
- 171をダイヤル
- ▼ ガイダンスが流れます
- 1 をダイヤル
- ▼ ガイダンスが流れます
- ▼ 市街局番から自分の電話番号をダイヤル
- ▼ 伝言を入れる

再生
- 171をダイヤル
- ▼
- 2 をダイヤル
- ▼
- ▼ 市街局番から相手の電話番号をダイヤル
- ▼ 伝言を聞く

災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した際に、各携帯電話会社が提供する「災害用伝言板」が開設されます。
登録された伝言はパソコンや他社の携帯電話から確認できます。

NTTドコモ
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi

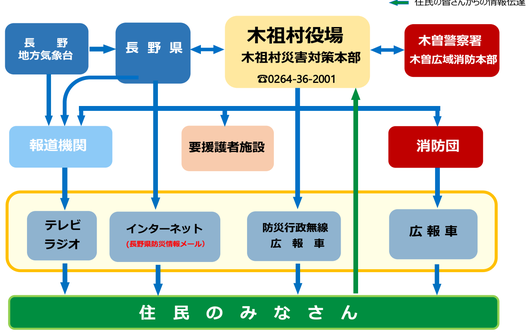
au
http://dengon.ezweb.ne.jp/

ソフトバンク
http://dengon.softbank.ne.jp/

災害情報の伝わり方

●洪水時には、自ら積極的に情報収集しましょう。

洪水や避難の情報は下図のようにお伝えします。



災害情報の入手

●防災情報を入手するには？

村内の災害情報

◆木祖村防災ＷＥＢ
http://www.bousai.vill-kiso.jp/kiso/ksndata/

天気予報・気象警報など

◆長野地方気象台
http://www.jma-net.go.jp/nagano/

天気・雨量・防災情報

◆YAHOO！JAPAN　木祖村の天気
https://weather.yahoo.co.jp/weather/jp/20/4830/20425.html

◆木曽防災・防犯ポータル
http://pad-m.kiso.ne.jp/
（携帯版）

各種防災に関する知識・ダム・河川情報（雨量・水位）

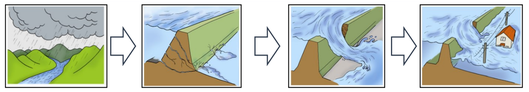
◆信州くらしのマップ
（長野県の防災に関する情報）
http://wwwgis.pref.nagano.lg.jp/pref-nagano/

◆味噌川ダム管理所
https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/

◆川の防災情報
（全国の雨量や水位情報）
http://i.river.go.jp/
（携帯版）

洪水が発生するしくみ

洪水発生のメカニズム（外水氾濫）



- 大雨によって川の水が増え、水かさが上がり始めます。
- 堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。
- 水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。
- 崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

洪水発生のメカニズム（内水氾濫）

- 下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、下水道から水があふれたり、下水道に入りきれないで地上に溜まったままになったりします。
- 街などに降った雨は、下水道などを通って川に排水されます。
- 大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。

河川の水位と避難情報発令基準

●洪水の避難情報は、以下の基準を参考に、今後の気象予測や河川巡視等からの情報を含めて総合的に判断して発令されます。

避難情報の判断基準

観測所名	避難準備・高齢者等避難開始発令目安水位	避難勧告・避難指示発令目安水位
小垣外橋	越水まで１．２ｍ	越水まで０．８ｍ
蒲　沼　橋	越水まで１．２ｍ	越水まで０．８ｍ
五反田橋	越水まで１．４ｍ	越水まで１．０ｍ
菅小林橋	越水まで０．８ｍ	越水まで０．６ｍ

（注）この基準は一応の目安であり、この状況までいかない場合でも避難情報が発令される場合があります。また、避難情報発令前でも危険だと判断したらすぐに避難してください。

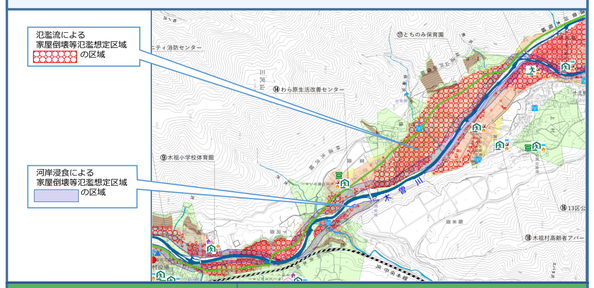
避難行動(タイムライン)

災害警戒レベルごとの避難行動

警戒レベル	木祖村発令情報	洪水予報注意報		発令時の状況	村民のみなさんがとる行動
レベル5	災害発生	洪水警報	はん濫発生情報	・堤防決壊・内水氾濫・溢水・越水・土砂災害が発生した状況。 ・人的被害が発生した状況。	・避難がおくれた場合は、２階以上の建物に避難するなど、ただちに命を守る最善の行動をとってください。
レベル4	避難指示（緊急）		はん濫危険情報	・現在の切迫した状況から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。	・避難途中の人は、一刻も早く避難を完了してください。 ・未だ避難していない人はただちに避難してください。避難が間にあわない場合はただちに命を守る最善の行動をとってください。
	避難勧告			・通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階。 ・人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	・避難できる人は最寄りの避難場所等へ避難してください。
レベル3	高齢者等避難準備		はん濫警戒情報	・要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階。 ・人的被害の発生する可能性が高まった状況。	・避難に時間がかかる人は避難場所へ避難してください。 ・それ以外の人は家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を始めてください。
レベル2	発表なし	洪水注意報		・警戒水位を超過し、さらに水位が上昇することが予想される状況。	・TV・インターネット携帯メール等で情報を収集してください。
レベル1				・水防活動の準備を始める段階。	

早期の立ち退き避難が必要な区域と浸水ランク別の避難行動

ハザードマップに示されている「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、洪水時に家屋が倒壊または、１階部分が浸水するおそれが高い区域です。この区域では、洪水時には避難勧告等に従って早期に立ち退く必要があります。洪水時には避難行動の内容を確認し、避難勧告が発令された際は、速やかに安全な場所に避難してください。



区域の凡例		避難行動
早期の立退き避難が必要な区域	洪水氾濫により木造家屋の倒壊の恐れがある区域	木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生する恐れがあることから、早期の立退き避難が必要。
	河岸浸食により木造家屋の倒壊の恐れがある区域	家屋が倒壊するような河岸浸食の発生する恐れがあることから、早期の立退き避難が必要。
	家屋が水没する恐れのある区域	最上階も浸水する恐れがあることから、早期の立退き避難が必要。
その他の浸水想定区域		床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。
浸水想定区域外		浸水想定区域内の住民等が避難してくるため、避難の手助けを行う。

■実際は想定と異なる浸水深になったり、地図に表示された区域以外でも浸水することがあります。

■避難行動や避難のタイミングは個々人がおかれた状況によりそれぞれ異なることに注意してください。

浸水ランク

想定される浸水深
- 5m以上
- 3～5m
- 0.5～3m
- 0～0.5m

木祖村防災ＷＥＢ

●情報を的確に入手するために

木祖村からの情報

木祖村のホームページでは、村内の防災に関する各種情報を提供しています。
また、メール配信サービスに登録していただくことで、お手持ちの携帯電話に情報をお届けします。ぜひ、ご利用ください。

URL：　http://www.bousai.vill-kiso.jp/kiso/ksndata/

QRコードを読み取り、空メールを送信して登録すると、雨量や水位に関する警報や注意報が登録先のアドレスへ配信されます。

ホームページ掲載情報
- 雨量
- 水位
- 湿温度
- 風向・風速
- 川の水位
- 川の現況画像　等

防災関連機関　連絡先

●行 政 機 関

名　称	住　所	☎ 電話番号
木祖村役場	木祖村薮原1191番地1	0264-36-2001
木曽警察署	木曽町新開2324番地1	0264-22-0110
木曽消防署	木曽町福島3737番地	緊急　119
木曽建設事務所	木曽町福島2757番地1	0264-26-2211
味噌川ダム管理所	木祖村小木曽2058-22	0264-36-3111

●ライフライン

名　称	☎ 電話番号	名　称	☎ 電話番号
中部電力パワーグリッド(株)	0120-984-565	ＪＲ 薮原駅	0264-36-2044
NTT東日本	１１６		

避難の方法

安全な避難の心得

■正確な情報収集と早めの避難

浸水してからの自宅外避難は危険です。テレビ・ラジオ等で最新の災害情報に注意し、危険を感じたら避難勧告を待たずに自主的に避難を開始してください。

■なるべく歩いて避難

自動車が水に浸かると、動かなくなったり、水圧でドアが開かなくなり大変危険です。
また、緊急車両の通行の妨げにもなります。

■避難所での注意

水害時に開設される避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することになります。
大声を出したり、騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。
互いの気遣いが大切です。

浸水後、避難する時は

避難するときは2人以上で、近所で声を掛け合って避難しましょう。お年寄りや子供、障害のある方を優先して避難しましょう。

動きやすい格好で、荷物は最小限にしましょう。持ち物はリュックで、手は自由に、長靴より紐靴運動靴で避難しましょう。

洪水はん濫は、勢いが強く水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。水深50cmを上回る状況での避難は危険です。

はん濫水は濁っています。マンホールや側溝など水の中の障害物に注意しましょう。（長い棒で足元を確認）

浸水が早く、逃げ遅れたときは無理をせず、自宅2階への退避避難や近くの安全な高い建物へ逃げましょう。

浸水深が小さいときは家庭にあるもので水の侵入を減少させることができます。大きい目のごみ袋やポリタンク等に水をいれ、水の侵入口に並べます。

非常持出品・備蓄品

●いざというときの為に日頃から備えておきましょう。

非常持出品

避難するとき、最初に持ち出すべきものです。

非常食品
- □チョコレート・クラッカー 缶詰・栄養補助食品等
- □飲料水（２～３日分）

照明器具
- □懐中電灯
- □予備電池
- □ろうそく・マッチ・ライター

情報機器類
- □携帯ラジオ・携帯電話
- □充電器・予備電池

応急医療品
- □ばんそうこう・傷薬・包帯
- □胃腸薬・鎮痛剤・消毒薬など（持病のある人は常備薬を忘れずに）

日 用 品
- □洗面用具
- □衣類・タオル・軍手など

貴 重 品
- □現金
- □預金通帳・印鑑
- □運転免許証・健康保険証

- ●男性15kg、女性10kgを目安にまとめましょう。
- ●年、1回は点検し、期限のあるものは入れ替えましょう。
- ●非常持出品の保管場所は玄関や寝室などのいつでも持ち出しやすい所においておきましょう。
- ●予備を車のトランクにおいておくのも良いです。

非常備蓄品

災害復旧までの数日間（３日間程度）生活できるように準備しておくものです。

飲料水と非常食品
- ・飲料水は1人1日3リットルを目安に。
- ・水と食料は最低3日、できれば1週間分を用意する。

燃　　料
- ・カセットコンロなどのバーベキュー用品が便利です。

そ の 他
- ・毛布・寝袋・新聞紙・ガムテープ
- ・トイレットペーパー・ロープ
- ・スコップなどの工具